

## 第7回松山駅周辺まちづくり審議会 《概要録》

開催日時：平成26年3月25日（火）

午後1時30分～午後3時30分

場 所：KH 三番町プレイス3階 第1会議室

### 午後1時30分 開会

#### 《挨拶》

##### 【松本開発・建築担当部長】

皆さん、年度末の特にお忙しいこの時期、ご参集いただきありがとうございます。

さて、当審議会では車両基地跡地の利用について、2年間、計6回のご審議を経て、本日、その利用に関する基本構想を取りまとめていただくことは、松山駅周辺のまちの将来のあり方を示すたいへん重要な意義を持つと考えています。

当審議会による基本構想案をご報告いただいた後、これを指針に速やかに基本構想を策定し、市民をはじめ、関係者の皆さまのご協力のもと、50年、100年先を見据えた魅力ある松山駅周辺のまちづくりに繋げていかねばと考えています。

つきましては、来年度以降も引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

##### 【柏谷会長】

皆さん、年度末のお忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

2年間にわたり、議論を重ね、今日の資料にもあるように、市民の多様な交流とか、文化創造、情報発信というものを素材にして、一方では懸案の市民会館に変わる新しい文化施設を頭に入れて、そのあたりを複合したようなかたちでの構想が、ほぼまとまってきているのではないかなと思っています。

できれば今日は、まとまった構想案が出てくればよいと思っています。今回も活発なご意見をいただけますよう、よろしく願いいたします。

### 議題1. 松山駅周辺地区車両基地跡地利用に関する基本構想案のとりまとめについて

#### 【事務局説明】

前回第6回審議会でも頂いた貴重なご意見を受けて、事務局で修正を加えた。

##### ○全体の構成について

- ・ 本日の審議会の後、基本構想案を市にご報告いただくので、「はじめに」として、柏谷会長名でありさつ文を追加

##### ○「1章. 基本構想の背景」について

- ・ 「③松山駅周辺まちづくりプラン」について、前文として説明文を追加
- ・ 上位・関連計画の計画目標年次と車両基地跡地を含む松山駅周辺地区の整備スケジュールを追記

##### ○「2章. 基本理念について」

- ・ オレンジ枠内の基本理念は変わらないが、総花的な印象を消し、キャッチコピーを強く打ち出すため、5つのキーワードと説明文を削除し、昨年度議論されたキャッチコピーについて、説明文を追加

○「3章. 基本方針」について

- ・ 中間報告をもとに4つの基本方針としていたが、新たに5つめとして、前回会長から「文化が新しい未来の産業の芽だしができるようなことを考えてはどうか」というご意見を受け、施設の活用に関わる大きなテーマと捉え、基本方針の一つとして、新たに③を追加
- ・ ①番について、松山駅周辺に集ってくる人の範囲について、より広域なイメージを追加
- ・ ②番の「松山らしさ」について、今年1月のシンポジウムで、俳人の夏井先生から俳句が松山らしさの一つで、世界に誇れるものではないかとの話を受け、俳句について追加
- ・ ④番のお年寄りの表現について、これからの高齢者にはアクティブなイメージがあってもいいとの意見を受け、自らが主体的に活動するような表現を追加
- ・ 基本方針は、めざす方向性について記載しているので、文末を「めざします。」に統一

○「4章. 基本機能構成」について

「1) 基本的な機能構成」について

- ・ 前回2つあった概念図を1つにまとめ、「松山駅からの発信だけではなく、松山駅へという意識も高めた方がいい」などの指摘を受け修正
- ・ 5つの主要機能の名称について、それぞれの機能の役割を明確にするため、「交流」の意味合いを精査し、①を「文化創造機能」、②を「市民活動機能」、③を「賑わい交流機能」とした。
- ・ ⑤の「防災機能」について、防災「拠点」機能とすると、かなり大がかりなイメージをもたれてしまう可能性があるため防災機能に変更

「2) 主要機能」について

- ・ 「①文化創造機能」について、タイトルと合わせ、【交流発信】を【情報発信】に修正
- ・ 交通結節点として通過利用者も利用できる市内施設の案内センターを記載
- ・ 松山の文学に関する記述を追加
- ・ 「②市民活動機能」について、タイトルの変更と、【市民活動支援】について、社会的弱者への配慮、高齢者の地域貢献への関心についての指摘を受け、これらの内容を追加
- ・ 【経済活動支援】について、商工会議所の取組みとの連携・役割分担、企業とNPOとのマッチングに関する記述を追加
- ・ 「③賑わい交流機能」について、ホールでの活動を楽しんだあとに、関連した活動を楽しめる、新たな賑わいやつながりが生まれることについて追加
- ・ 「⑤防災機能」について、タイトルから「拠点」という文字を削除
- ・ 基本計画・基本設計の段階で具体の検討をするため、ヘリポートなどの具体の表現を削除

「3) ホール機能について」について

- ・ 基本構想案における肝心なところであり、項目として、新たに「3) ホール機能について」を追加。内容としては、「①既存施設にあるホールの状況」、「②文化創造、市民活動の核としてのホール機能」の2つの項目としている。
- ・ ホールの規模や機能については、ホール機能を取巻く状況とこれまでの基本構想の議論を踏まえ、今後の検討の条件となる内容を記載。大きなくくりとしてふたつ、ひとつは「市民の交流を促進できる、市民が利用しやすい規模・機能」をもった「日常の場としてのホール」。もうひとつは「高い音響特性や優雅な雰囲気を持ち、非日常を体験できる「わくわく」する」「非日常の場としてのホール」。

「4）基本計画・基本設計に向けた配慮事項」について

- ・ 「②環境モデル都市を先導する地区としての配慮」について、松山市が環境モデル都市に選定されたことをより強く打ち出すため、タイトルを変更
- ・ 「③松山の新たな顔づくりに向けた景観・デザインへの配慮」で、何のための景観・デザインなのかがわかるようにタイトルを変更
- ・ また、地区全体での賑わいを生むため、賑わいを閉じ込めないデザインが必要との指摘を受け、「人を閉じ込めない、賑わいが外にしみ出すデザイン」という文言を追加
- ・ JR松山駅から車両基地跡地までの歩行者空間の重要性、県、JRと連携した景観・デザインの実現について、松山駅周辺地区から大手町通りへの波及について、を追加
- ・ 「④その他」には、ハード整備にとどまらないソフトを含めたユニバーサルであるべきということ、施設計画について可変性・転用性に配慮すること、IT化、グローバル化への対応について、ご意見があり追加

○ 「5章. スケジュールと今後の課題」について

- ・ 「2）今後の課題」、「①新しい文化を先導する市民参画の実現」について、ソフトとハードの両面からの市民参画の必要性に関してご意見があり追加
- ・ ②番について、計画・設計だけでなく管理・運営への市民の声の反映を、とのご意見があり追加
- ・ 県と市、JR四国の3つの事業主体の中で、最も検討が進んでいるのは松山市であり、松山駅周辺まちづくりの実現に向けて、市がリードすることが重要とのご指摘を受けて、「⑥松山市の役割」を追加

以上、基本構想案について前回審議会のご意見をもとに修正した箇所の説明を終わる。

【事務局】

基本構想案のとりまとめについて、委員のみなさまに、多くのご意見をいただきたいと考えており、前回同様、中京大学現代社会学部講師、まち楽房（らぼ）有限会社代表取締役 加藤武志 様に進行役をお願いしたいと考えているが、よろしいか。

【会長】

- ・ 事務局から、加藤氏を進行役におきたいとの提案があったがよいか。

【参加委員】

- ・ 同意。

【会長】

- ・ 異議もないようなので加藤様に進行役をお願いする。

【進行役】

- ・ 今日は、前回審議会での指摘を踏まえて修正した基本構想案について、評価できる点と、こうしたらより良くなるということについて話し合っていたきたい。

【A委員】

- ・ 「3章. 基本方針」の②は、松山が持つ資産としてのお城と温泉とを有効にリンクするかたちで松山らしさを提案しており評価できる。
- ・ 「3章. 基本方針」の④は、弱者に対する対応ということであれば、障がい者も含め、もう少し具体的にわかりやすく記載してもいいのではないか。
- ・ 駐輪場、駐車場の整備を含めた交通の考え方について、この施設だけでなく市全体としての駐輪場・

駐車場の考え方をどこかで触れてもいいのではないかと。特に、道路交通法が変わり、自転車については専用道路の整備など色々考えなければならないこともある。

【B委員】

- ・図などを用いて、視覚的に訴える基本構想案になっており評価できる。
- ・基本構想案としては、かなり具体的で図も多く、イメージから想像されるところも多い。さらに踏み込んで、これまでの審議会に出てきた具体的なアイデアを資料として添付してはどうか。

【C委員】

- ・観光面では松山百選や農業・水産といった産業など、松山の色々な「らしさ」を表現するには映像活用も含めてIT技術を導入してもいいのではないかと。

【D委員】

- ・「第4章. 基本機能構成」の「1) 基本的な機能構成」にある概念図がわかりにくい。地名、方位で地図が意識されるが、それと各機能などの配置がリンクしていないように思う。

【E委員】

- ・その概念図は、施設機能図としての内容と位置づけ図的な要素が入っているので、わかりにくくなっている。
- ・広域的な位置づけは上位計画で整理しているので、情報を絞って施設機能図につくり変えたほうがいい。

【進行役】

- ・施設機能図というよりは、主要機能の概念図として整理を始めた図であるが、前回審議会でも丸だけだと位置関係がわかりにくいという議論があり、位置関係も含めるように修正した経緯がある。

【E委員】

- ・そうであれば、5つの機能を囲む、もう少し大きな丸がないといけない。また、駅、鉄道を真ん中に置くのはおかしい。5つの機能を囲む大きな丸の周りから矢印が出る形であればいいのではないかと。概念としての施設機能を表現すればよい。

【D委員】

- ・平面だと重なりあってわかりにくい。鳥瞰図のように立体的に表現したら地図と概念をうまく表現できるのではないかと。

【進行役】

- ・D委員の提案は、地としての部分に概念図をかぶせるもので、E委員のご提案は立地ベースの敷地として、駅の上ののっているのはおかしいということ。
- ・3Dにしていいのか、敷地図にしていいのかご議論いただきたい。

【会長】

- ・基本的にはあまり変えない方向でよいのではないかと。

【A委員】

- ・この図をベースに、鉄道の位置をずらし、敷地のイメージに合うように変更してはどうか。また、各機能を囲む外側のラインを濃くすれば、わかりやすくなる。

【F委員】

- ・この図は市有地に限定せず、駅周辺地区全体を含めた考え方を示した図と理解していたので、駅が真ん中でもいい。

【E委員】

- ・車両基地跡地の基本構想について議論しており、その基本的な機能構成だとすれば、ここに表現するのは、基本的には敷地におさまるものにするべきではないか。

【F委員】

- ・一方で、基本構想案では、ここに書いてあるもの全部をこの敷地でまかなうのではなく、周辺も含めて共存共栄していくとも書いてある。

【進行役】

- ・当初の通り概念として記載するのか、敷地になぞらえて記載するのか、2案俎上に上った。審議会案としてはどちらにするかを考えていただきたい。

【G委員】

- ・正確に言うと駅は中心ではなく外れていると思うが、駅が中心にあれば結節点ということがわかってよいのではないかと思う。

【H委員】

- ・「松山らしさの全てはココから」といいながら、真ん中に駅が来ているのが気にかかっているのではないかと思う。初めて見た人には、誤解のないように駅をずらしたほうがよいのではないか。

【I委員】

- ・線路やハードな図が書いているのが、かえってわかりにくいのではないか。

【B委員】

- ・概念として見てもらえればよいと考え、線路や駅は除いてもよいのではないか。

【J委員】

- ・概念として理解しているので違和感はなかった。松山駅周辺の話で車両基地跡地だけではないと思っている。

【進行役】

- ・3つ意見がでた。
- ・1つめは、このまま、これをベースでいこうという意見。
- ・2つめは、当該敷地にあわせて駅の位置をずらして、誤解のないようにしようという意見。
- ・3つめは、駅や矢印などの表現をやめ、あくまでも主要機能、概念としての円で模式化した表現にとどめるべきという意見。
- ・審議会提案としてどうするか。

【A委員】

- ・「第4章. 基本機能構成」の「2) 主要機能」以降で、具体的に文章で説明しており、簡単にした方が概念図としてわかりやすいのではないか。第4章の「3) ホール機能について」でホールという文章が具体的に入っており、元の概念図に戻して、文章で補っていると考えたほうがシンプルかもしれない。

【進行役】

- ・3名ぐらいの方から「シンプルに」という提案があった。

【G委員】

- ・交通アクセス機能についても、主要機能の4番目の記述で理解できるのであれば、図で線路を表現しなくてもいいと思う。

【C委員】

- ・私もシンプルにJRの線路は無いほうが良いと思う。私どもは車両基地跡地をどのようにするかという話の中で交流拠点として機能の話をしてきた。施設機能図的なほうが私達の議論をコンパクトに表現できる。

【E委員】

- ・後の文章で記載があるので、箱の中の説明は簡略化していいのではないかと。ただ、中心市街地への波及や観光への波及などの表現は残っていいと思う。

【進行役】

- ・線路を消し、シンプルにして概念図にするということに異論はあるか。

【参加委員】

- ・同意。

【進行役】

- ・箱の説明、囲みを省き、薄いブロック矢印を残したほうがいいのではないかと提案があったがどうか。

【A委員】

- ・枠内は太いゴシック部分だけにすればいいと思う。前回の「文章を読まなくても、図を見ればわかるように」という議論の経過は大事にしたい。ただ、誤解を招く表現は削除するという考え方にすればいい。

【進行役】

- ・異論がなければ、この方向でと思うがどうか。

【E委員】

- ・了解。ただ、この矢印線が円の中に入らないようにしてもらいたい。

【会長】

- ・基本構想案の、この段階での変更となると調整が大変だが、変更後の確認は会長と市が責任を持つということではどうか。

【参加委員】

- ・了解。

【進行役】

- ・では、他に評価できるところや改善点はどうか。

【G委員】

- ・前回の意見が反映されていて全体的にまとまっている。

【I委員】

- ・スケジュールと今後の課題の中で、市民参画について内容が具体的になった。
- ・基本方針の中で、「駅前立地を活かし、松山の情報文化を体験できる」というところが少しわかりにくい。駅前の立地を活かすというのは、観光を踏まえていると思うが、枠外の文章に観光推進的な説明が入っていない。観光推進的にすれば、同じく基本方針の②番「独自の文化で接待の心など…」のところ、観光情報も含めた情報発信と、それと連動した体験といったような記述があると、駅前立地を活かした観光推進として、こういう情報が得られ、体験ができる場所ということが理解できるのではないかと。

【進行役】

- ・「第3章. 基本方針」の①は文化寄り、②は観光も含めたおもてなしということで、事務局では整理しているように理解しているが、①にも観光のニュアンスが入れられるか、事務局で検討をお願いしたい。

【H委員】

- ・事前送付資料では対訳的に、非常にわかりやすくまとめられていた。
- ・路面電車の記述があまり無いが、路面電車延伸に関する文言がもう少し入ってもいいのではないかと。
- ・「松山らしさ」ということで、俳句が入るのも非常に面白い。他に「松山らしさ」ということでは、「坊っちゃん」や「坂の上の雲」が盛り込まれていいのかなと思った。
- ・デザインについて、人を中に閉じ込めないデザインにするという記載がされたのはとても良い。

【F委員】

- ・「松山らしさ」の議論では、路面電車自体が「松山らしさ」ではないかと。
- ・車両基地跡地から路面電車の電停が遠いため、基本構想案でどう表現すればよいのかはよくわからないが路面電車ですぐにホールに来られるお客さんが多くなるといい。

【進行役】

- ・立地の特性あたりでの記述を考えていただければよいのではないかと。

【F委員】

- ・路面電車を降りて、ホールに行くまでの体験が大事だと思う。

【進行役】

- ・「松山らしさ」の一つということで、路面電車についても加味した表現としていただく。

【E委員】

- ・全体的には質・量ともコンパクトにまとまっていて、いい構想案になると思っている。
- ・改善希望としては、当初からワークショップ形式で親密に進めていたので、そこを最初の「はじめに」に少し入れてもいい。
- ・基本計画でやるべきことかもしれないが、「第1章. 基本構想の背景」の「3) 車両基地跡地の立地特性」のところに、連続立体交差事業によって敷地条件が変わってくる部分があることに触れてもいいのではないかと。

【B委員】

- ・「第4章. 基本機能構成」の「1) 基本的な機能構成」の概念図で色分けをしているので、同じく第4章の「2) 主要機能」も連動したカラーリングにするとわかりやすいのではないかと。

【D委員】

- ・「第4章. 基本機能構成」の「3) ホール機能について」の部分はわかりやすくよい。この文章でホールが必要だと思うし、どのようなホールが必要なのかもわかる。加筆としては、松山市民ができること、松山市民がしたいことという観点でホールを考えていくような方向性が示されればよい。概念図も含めて全体的にすごくわかりやすい。最後のところにホールが出てくるので、ここで結論というか、だからこういう方向性なのだといい。
- ・「松山らしさ」という言葉が最初から出てくるので、最後にも「松山らしい」ホール、「松山人が好むような」「松山好みの」という言葉が入ると市民の方が考えやすいと思う。

【進行役】

- ・第4章の「3) ホール機能について」のア、イで、非日常が体験できるということと市民が日常利用できるという両方が書かれているが、これに「松山好み」や「松山らしさ」と絡めて説明できると全体が通ってみえるというご提案かと思う。事務局に検討していただく。

#### 【I 委員】

- ・外国の方などから、松山は大きな近代的な都市なのに街中に歴史的な道後温泉などもあり、新しいものと古いものがマッチしていると言われる。例えば、最初に「松山市は大きな中核都市でありながら」と加えると、近代的な都市だけど身近に古いものが感じられるというところが松山市民にもわかってもらえるのではないかと。

#### 【進行役】

- ・「第3章. 基本方針」の②に、「お城中心の落ち着きが漂う」ということで、古いことについて書いてあるが、そこに「近代的な町でありながら」という説明を入れる方向で事務局に検討していただく。

#### 【J 委員】

- ・「松山らしさ」をハード面とソフト面に分け、ハード面としては駅を降りてすぐにお城や城下町ということがわかる。例えば、施設の外側にお城を連想させるものとして、石垣、松、瓦屋根などを使うとよいのではないかと。一方で施設の中はすごく機能的、現代的で暮らしやすい、使いやすい、そういう二面性があるのかなと思う。

#### 【進行役】

- ・「松山らしさのアピール」として、「第5章. スケジュールと今後の課題」の「2) 今後の課題」の「⑤松山らしさの発見とアピール」に、みかんの木や俳句、和風が記載されている。前回審議会でもアンケートなどをとるとレトロの方に傾くが、レトロ一色ではなくて、例えば松山駅から道後にいくまでの間に、時代が変化するようなストーリーがあってもよいのではないかとという提案があった。

#### 【J 委員】

- ・駅と城が近いだけに統一感が取れたほうがよいのではないかと。景観は古い感じで残して、中身を機能的に。外側を全部新しくすると、50年、100年持たないような気がする。今までの先人達が培ってきた歴史を継続していけるような駅周辺がいい。

#### 【D 委員】

- ・先ほどホールと絡めて松山の人ができることということで説明したが、松山の人好むことを、住民から発信できたらいい。住んでいる人が、あまり気づいていないような、外から入って「いいな」と思うところ、実は松山の人気づいていないことが沢山あり、それに気づかなければならないと思う。
- ・「第5章. スケジュールと今後の課題」の「2) 今後の課題」の⑤で「松山らしさのアピール」と書いてあるが、今気づいていることをアピールするのではなく、アピールするべきものを探すこと、手垢が付いた「松山らしさ」ではなく松山の人達が自分で見つけた「松山好み」ができれば面白くなると思った。

#### 【進行役】

- ・既存の価値観ではなく、新しい価値を見出したり発見することも含めて「松山らしさ」ということ。J 委員からは、景観は守りつつ中身を新しくという提案もあった。



- ・他の委員から「松山らしさ」や景観について、審議会からぜひ加えたいという意見はあるか。前回審議会でもデザインコードや周辺も含めたトータルの佇まいとしての景観を整えていこうという話があった。

#### 【E委員】

- ・区画整理地区全体については、別に協議する場があるのではないか。

#### 【進行役】

- ・前回審議会でも、この審議会から発信して共有、リードしていこうという提案があった。

#### 【G委員】

- ・モニュメントみたいなもの、目でみてわかりやすいもの、松山らしさというのが抽象的でわかりにくい。目で見てわかるようなものにした方がいい。
- ・平和通りなどに俳句の碑はたくさんあるが目立たない。例えば、みかんの形にするなどわかりやすいものにして、外国からの人も含め他所から来た人にも地域資源を見せてあげるようにすればよいと思う。

#### 【進行役】

- ・「松山らしさ」をわかりやすいものにと話だが、その辺りご意見はないか。
- ・一方でD委員からの、探していく、見出していく、今まであるものを表出するだけではなく、新しく作ったり見つけていくのだというのも非常にいい提案だと思った。
- ・ここで本日の皆さんの意見の振り返りをしたい。
- ・評価できる点は、次のとおり。
  - 全体的に視覚的にわかりやすいものになっている。
  - 前回の意見を細かく拾って反映されている。
  - 市民の声の聞き方、市民参画の仕方、協働のパートナーとしてというあたりが具体的になっている。
  - 俳句がポイントで取り上げられて、「松山らしさ」で謳われているのがいい。
  - 閉じ込めないデザインや賑わいの滲み出しが出ているのがいい。
  - 全体の質・量ともコンパクトで基本構想としての体をなしている。
  - ホール機能の特出し部分が非常にわかりやすく、どのようなホールなのかがイメージが沸くような記述になっている。というところが評価できる点として指摘いただいた内容である。
- ・改善の提案については次のとおり。
  - 「第3章. 基本方針」の④、弱者への対応というところをもう少しわかりやすく。
  - 「第1章. 基本構想の背景」の「2) 松山駅周辺地区のまちづくりの背景など」の概念図で、駅と城と温泉と松山の資産のつながりをもっと明瞭にしたらどうか。
  - 駐輪場・駐車場の考え方については、この施設だけでなく市全体でサイクリングロードを含めた提案があってもいい。
  - 今までに話し合ってきた具体的なイメージを資料として添付してはどうか。
  - 「第4章. 基本機能構成」の「2) 主要機能」あたりに IT 関連の活用、映像を使った松山らしさの表現があってもいい。
  - 第4章の「1) 基本的な機能構成」の概念図がわかりにくいので、修正してほしい。

- 第4章の「1) 基本的な機能構成」の概念図と「2) 主要機能」の説明をカラーリングで合わせてはどうか。
- 第3章の①「駅前立地を活かし」のところに、観光の推進についても加味してほしい。
- 「松山らしさ」という点では、路面電車もあるので、その記述も入れてはどうか。
- 「はじめに」で、ワークショップといった参加型で、皆さんが積極的に意見を言って積み上げ型で進めてきたことに少し触れてもいいのではないか。
- 第1章の「3) 車両基地跡地の立地特性」で、敷地条件について道路が立体であるなどもう少し詳しく触れてもいいのではないか。これは基本計画でもいいかなという意見であった。
- 松山市民がしたいこと、できること、松山好みの、松山らしさ。
- 自分達で文化を見出したり探したりすることを謳ってもいいのではないか。
- 大きな中核都市でありながら、古いものと新しいものがかたちで共存しているということを記述してはどうか。
- 景観と内面にわけて、外側は松山城をイメージした石垣や松や瓦屋根といった景観のモチーフを踏襲して、一方で内側は最新の使いやすい機能にしてはどうか。
- 今あるものをそのままアピールするのではなく、手垢のついたものでないものを自分達で見つけていくことが重要。
- 一方で、みかんタワーではないが、わかりやすい形で「見える化」するのも大事である。
- ・ 今後は、事務局で精査して修正し、会長一任で最終案にするということによいか。

#### 【F委員】

- ・「らしさ」のモニュメントという話があったが、デザインする立場からは非常にヘビーな宿題である。大失敗に終わることも多く、基本構想案で「必ず作りなさい」と受け取られる書き方をするのは危険だと思う。
- ・ 現実には、これだけのビッグプロジェクトだとコンペになると思うので、設計者を選ぶ手続きの際に審査項目の一つとして「らしさ」について入れるのが上手なやり方ではないかと思う。

#### 【進行役】

- ・「らしさ」をそのまま具象化したものが必ずしもいいものにならないとのこと。D委員がおっしゃったように、ソフィスティケートされたという大げさだが、松山のいいところをデザイナーのフィルターを通して創造物として還す、そのままではない価値を生み出せると面白いのかなと皆さんの議論を聞いて感じた。

#### 【事務局】

- ・ 本日ご欠席のK委員から事前にコメントをいただいているのでご紹介する。
- ・ 1点目、前回の審議会で出された委員から意見が反映されて充実し、よりわかりやすいものになっている。特にホール機能に関する加筆によって、既存施設との役割分担、新たに負荷すべき機能が明確になっていることが評価できる。
- ・ 2番目、松山市の役割と項目が追加されることで、松山駅周辺のまちづくりを松山市がリードすることが明確になって評価できる。
- ・ 3点目、今回の審議会で修正される場所もあると思うが、本質的に変わることはないと思うので、基本構想案については原則承認するとの内容である。

#### 【進行役】

- ・他にご意見がなければ、議題1について会長へお返しする。

**【会長】**

- ・皆さん、基本構想案の検討、お疲れ様でした。
- ・今回いただいた皆さんからのご意見・ご提案をもとに事務局と修正を行い、私が確認のうえ審議会から基本構想案の報告とするがよろしいか。

**【参加委員】**

- ・異議なし。

**議題2. その他**

**【事務局】**

- ・今後のスケジュールについて説明する。
- ・このあと審議会から基本構想案の報告をいただく。その後、それをもとに市で協議し、パブリックコメントをとって、その結果、松山市として基本構想を策定するが、その間のことは当審議会に報告する。それらを新年度できるだけ早急に行う予定である。
- ・それを受けて、平成27年度以降、松山市による定量的な内容、どういう設計にするかという基本計画に向けて作業を進める予定であり、その過程では市民のアンケートやワークショップ、作画コントロール、またそれらを報告するシンポジウムを開催したいと考えている。

**【会長】**

- ・ただいまの説明について何かご質問ご意見はありますか。
- ・特にないので本日の議事をこれで終了する。
- ・審議会は今後、基本計画を策定するうえでも重要なものと考えており、検討を深めていく必要がある。今後も皆さんとともに審議を継続していくので、来年度もご協力よろしく申し上げます。

**午後3時30分 閉会**